

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第10回

1. 実施日

令和3年10月2日（土）1、2限

2. 場所

324 教室 A-1～5、323 教室 B-1～5、322 教室 C-1～5、321 教室 D-1～5

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川 和余、佐々木 啓成、中澤 知里、宮崎 雄史郎
本校卒業生TA 8名

5. 内容

今後の課題研究の流れの理解

「研究報告書」Ver.2=ポスター作成（9/25と10/2）

→10/23に最終準備：ポスター及び原稿修正+想定問答集の作成

→11/6に大阪大学の先生方・TAの皆さまの前でポスターセッション発表
（発表6分+質疑応答6分を予定）

「研究報告書」Ver.2=ポスター作成

「調査シート」②や大阪大学アカデミック・ライティング講座で作成した「パラグラフィティングワークシート」をもとに、「研究報告書」Ver.2を作成する。

作成時の注意点

- (1) RQ（問い）と仮説（答え）は明確で、論拠・証拠に基づいているか。
- (2) 明確な証拠に基づいた科学的な文章となっているか。
 - ・基礎となる概念が定義されているか。
 - ・測定可能か。数値データが必要。
 - ・偶然関係があるようにみえるだけではないか。
 - ・文化・時代の影響はないか。
- (3) 思考が整理された分かりやすい文章となっているか。
*注意点が守られているかどうかを、5W1Hツッコミでチェックする。

ポスター作成のルール

- (1) Excelファイルにデータ入力する。
- (2) グラフ・資料等を盛り込み、文章だけにならないようにする。
- (3) 出典を明記する。『課題研究メソッド』pp.28-29参照

6. 学び

「研究報告書」の作成をとおして、①現状の理解 ②現状の確認・分析 ③仮説構築までを行う。また、前回のアカデミック・ライティング講座で学んだ（1）問いと答えのある文章、（2）明確な証拠に基づいた科学的な文章、（3）思考が整理された分かりやすい文章で表現する。

7. 次回への課題

ポスターセッション（11月6日）に向けて、「研究報告書」Ver.2を完成させ、発表原稿や想定問答集を作成する。

8. 本時の振り返り

先週に引き続き「研究報告書 Ver. 2」の内容について、班で議論し修正した。ポスター完成まであと一歩となり、まとめ作業に入る中で、新たな疑問が出てくることもあり、これまで以上に意見を出し合い、活発な話し合いとなった。参加してくれたグローバル科卒業生のT Aからも様々な指摘をいただき、より研究が深まった。